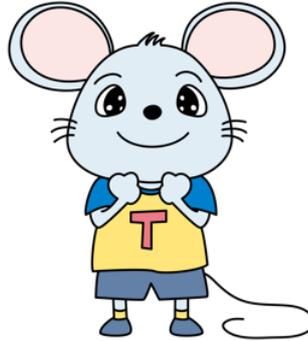


AG+

## 補習校ネット情報交換会 #44

2023,04.24

# 保護者との協力



お願い：できるだけカメラONでご参加ください。

### 本日の予定

1. 各校からの報告
2. 質疑・意見交換
3. 終了後、グループ懇談 15分

### ◆ これからの情報交換会

リクエストは、三井 [tommitsu1122@gmail.com](mailto:tommitsu1122@gmail.com) または、佐々 [ag5nsassa@gmail.com](mailto:ag5nsassa@gmail.com) へ。

### ◆ 情報交換会の録画について

スタッフの反省材料とするため、ミーティングの録画をさせていただいておりますが、それ以外の目的でお見せすることはいたしません。ご理解をお願いいたします。

### ◆ 出席者と連絡を取りたいとき

ご希望をお知らせください。相手の方の許可がいただければ、メールアドレスをお知らせします。

### ◆ こちらもご覧ください

過去のAG5 補習授業校情報交換会資料 <https://www.ag-5.jp/post>

AG5 ウェブサイト <https://www.ag-5.jp>

補習校教員交流 Facebook <https://www.facebook.com/groups/1664125650300837/>

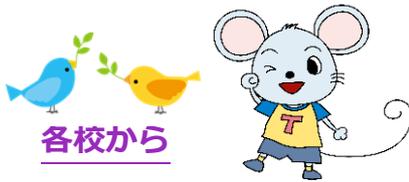
海外子女教育振興財団 (JOES) <https://www.joes.or.jp>



## ここが聞きたい

- ・現状報告ですが、保護者と連絡する際は学校を通してすることになっており、直接教員から連絡はできません。保護者からやたらと何かを依頼されたり、直接苦情を言われたりすることはないので、その点では学校が教員を守ってくれています。ただ、直接こちらから連絡をとった方が早いこともあり、特に行事前などに個人的に保護者と児童にお願いしたい時に学校を通すと時間がかかることがあります。毎週、授業報告をホームページに掲載しますが、一方通行ですし、年1回の三者面談はあるものの、直接保護者からの声をタイムリーに聞ける機会もやはり大事だと感じています。厳しいコロナ感染予防策から解放された新年度は、積極的な保護者の行事参加や授業参観などを取り入れてほしいと感じています。他校の先生方で保護者の方とどのような連絡をされ、ご協力をいただいているのかを知りたいです。
- ・保護者との関係を良好に保つために心がけていることがあれば教えてください。
- ・授業の工夫をしたり、授業をしたりすることはとても楽しくやりがいを感じています。ですが、保護者とのやりとりとなると、積極的には関わりたくないというのが正直なところです。補習校だと駐在家庭から永住家庭、永住家庭の中でも毎年日本で体験入学をする子や、とりあえず日本語に触れさせてあげたいという家庭まで補習校に求める物が様々です。1学年で10人未満の学級が多いですが、人数は少なくとも家庭ごとに要望が異なり、勤務時間外の日や時間関係なく頻りに連絡が来たり、宿題等への要望も家庭ごとに異なります。そこで、他の先生方がどれくらいの頻度で保護者と個別に連絡を取るか、保護者との連絡の取り方にルールはあるか（個人のメールアドレスを使用しない、休日は保護者からの連絡を受け付けないなど）、また、どれくらい個別対応に応じているのかを知りたいです。
- ・子どもに任せっきりで、親の協力がなかなか得られないご家庭にはどのように対応してらっしゃいますか？
- ・生徒のモチベーションを保つためにはどのような工夫、声掛けをされていますか。
- ・高学年になると児童の勉強に関わらないようになってくるように思う。もう少し関わるようにしてもらうには、どうすればよいか。
- ・できるだけ平等にお手伝いいただき、それを楽しくモチベーションをもってやっていただく、声掛けなどのコツ。
- ・授業風景など写真や動画をクラスだけの保護者や子供たちとシェアするのもとても神経質なお家庭があります。入学や編入する際にそのような事(写真 動画等のシェア等)に対する契約書みたいな書類があるのはこのご時世当たり前ですか？
- ・保護者の方より年が下、また海外に住む者としても大体の方が先輩のこともあってか、一部の保護者の方と「横並びの関係」を築くことが難しいことがあります。昨年度は保護者の方に授業のサポートに入っていただきましたが、私の授業の品定めのような時間になってしまい、上手いきませんでした。保護者の方に、どのくらい授業に関わってもらっているかお話を伺えれば幸いです。
- ・ディスレクシアや多動症の症状がある生徒の保護者とそれについて話し合う時に気をつけることについてアドバイス頂けるとありがたいです。
- ・保護者間の軋轢がおこらない保護者へのお願いの仕方、「強制」と受け取られない方法など教えてください。

- ・主に家庭でご協力いただくお母様が日本人でない場合のご協力のお願いの仕方
- ・保護者の補習校に対する考え方や思い、または、目的、利用法など、ここ10年で随分変化したと感じています。皆さんはいかがでしょうか。もしあれば、どんな変化が見られるかご教示ください。
- ・特になし。皆さんの色々な意見が聞きたい。
- ・保護者の学校運営にかかる役割や負担
- ・行事やイベントを行う際に、どこまで保護者の方をお願いして行っているか（企画段階から入ってもらうか、もしくは当日のサポートのみか）
- ・保護者の協力を得やすい宿題の出し方、作文のお題などが知りたい。いろんな考え方の保護者がいらっしゃると思いますが、こちらを立てればあちらが立たず、といった状況があった場合、どのように公平を保てばよいのか、それから、宿題など頑張っている保護者への褒め方、感謝の伝え方で工夫していることがあれば教えてください。
- ・モンスターペアレンツへの対応(ケースバイケースだとは思いますが…)
- ・少人数の為当番が頻繁に回ってくる学校ではどうされていますか。
- ・非協力的（言葉が悪くてすみません）な保護者との良好な関係のつくりかた
- ・保護者が宿題の手助けをしすぎるところがあります。皆さんはこんな時、どのように対処していらっしゃいますか。
- ・目指す日本語力レベルについて、家庭によって様々。学校任せにしている保護者への対応をどうしているか。積極的に聞いてくれるようにする工夫、講師からの接し方・依頼の仕方のコツ。
- ・クラスの途中でどうしてもトイレに行きたいという子に対する対応



### ♣カンザスシティ \*\*\*\*\*

毎週の宿題を効率的に家庭で学習していただくために、宿題ごとに勉強の仕方や注意点をメールで送付しています。（浜田 佐知）

### ♣ユタ \*\*\*\*\*

本校は運営、事務、教務、理事の多数は保護者で構成されています。この事実を機会のあるたびに説明しておくの一部の保護者の対応に時間を取られるようなことが減るかと思えます。（戸高 明哲）

### ♣リッチモンド \*\*\*\*\*

私は中学部の教員ですが、毎週お送りするメールは保護者の皆さんをCcにしております。その方がどんなことを補習校で行なっているかが伝わると思うからです。また生徒さんからなかなか返事をもらえない場合には保護者の協力を得ています。（三川 早苗）

### ♣シカゴ双葉会 \*\*\*\*\*

ひたすら高等部だよりを発行し続けました。毎週、コロナ前まで。通算 800 号を超えます。レターサイズで両面 3 枚、1 回 2 万字に及ぶことも。保護者にとって痛いことも書きました。嫌われても平気、子供の為であればと。でもこれができるようになったのは還暦過ぎてから。お婆ちゃんの目で書くから、子育ての息を抜いていいところなどがわかってきます。子育てそう熱くならないでもいいと加減がわかってきたのも、この年齢。親と教師は子育てに関し同じサイドに立っている。決して相対立する関係ではない。そこを汲み取って頂いた後は非常にやりやすい。こちらがヘタを打った時も逆にカバーしてくれる。（金谷 紀代子）

### ♣プノンペン \*\*\*\*\*

プノンペン補習校は、毎週土曜日だけの運営となりますが、保護者の方が順番に最低 1 回は、土曜当番として学校に来ていただき、子供の通学時の受付、幼稚部の先生の補佐、読み聞かせを行うこととなっており、先生方やほかの子供たちと仲良くなれるようにしています。（西村 清志郎）

### ♣ブندان \*\*\*\*\*

全ての保護者が運営に関わりをもち、なんらかの仕事を担当している。（宗像 由記）

### ♣オークランド市 \*\*\*\*\*

保護者会主催の行事があり（七夕会、ひな祭り会など）、企画・運営をすべてまかせて、子どもたちに日本の文化を伝えるとともに、大人も楽しむ行事になっている。運営資金をまかなうのに、いろいろなアイデアを持ち寄り、ファンドレイズを行っている。（ホワイト 絵里香）

### ♣ヨーテボリ \*\*\*\*\*

保護者の方との関わり方について、色々お話を伺えればと思っています。よろしくお願いたします。（森戸 彩）

**♣ビクトリア \*\*\*\*\***

昨年5月に始まったばかりの学校なので、保護者に何かをお願いすることはまだ多くありません。なるべく子どもの日本語学習や学校での活動に直接関わることのお手伝いをお願いしています。運動会の競技のサポートや図書の整備などです。（嶋添 寿恵）

**♣ラバト \*\*\*\*\***

保護者には協力をお願いすると同時に、保護者が積極的に参加したいと思える環境・場面作りも大切。例として、たて笛演奏グループ「ママーズ」結成、井戸端会議ができる雰囲気作りと場所の提供、機関誌の発行による情報共有など。Give & Take であることは大事。（嶋野 純子）

**♣シカゴ \*\*\*\*\***

担任と保護者は敵対する関係ではないというメッセージを伝える。そのために、まずはこちらが「保護者の評価をしない」ことが大事だと思います。こちらが思っていることは、必ず伝わります。相手の話を聞き、共感し、反論するべきはする。公平性が大事だと思います。そして、「あなたは十分頑張っている」というメッセージを心がける。（岩佐 淳子）

**♣アムステルダム \*\*\*\*\***

保護者は保護者会に「自動加入」し、学校運営に必要不可欠な存在であることを入学時、転入時、役員会交代時などに共有するなどして、コロナ禍後、参加意識が低下した保護者会と学校との結束を高めています。（鈴木 隆秀）

**♣チューリッヒ \*\*\*\*\***

学校から「本校の教育に賛同・協力していただける人材を外部に求め、その方々の専門性や奉仕の精神を子どもたちの指導に生かす。」ことを目的として、運動会補助、図書整備、芝刈り、講和会や教科授業ボランティアを保護者に募っています。その他にも、有志太鼓部指導と支援も保護者が担っています。他校では、本校よりも多方面で保護者との協力が実施されているのではないかと思います。（長森 千枝）

**♣香港 \*\*\*\*\***

年3~4回のボランティアを保護者は行っています。保護者の方に交替で毎週クラスボランティアに入ってもらい、漢字テストの採点や提出物のチェック、授業中のサポートを行ってもらっています。他の学校の取り組みをお伺いできる機会をありがとうございます。（渡辺 万理）

**♣米国グリーンビル \*\*\*\*\***

学級活動の様子の写真撮影や手伝いなどは、学級委員さんを通じてお願いすれば、すぐにまとめてもらえます。（スコット恵子）

**♣北東イングランド \*\*\*\*\***

こまめに連絡を取り、相手の様子を伺ったり、補習校では常にお子様の様子や、日常の話をしたりするようにしています。（ロブソン 佐起子）

**♣ストックホルム \*\*\*\*\***

22年度から小1保護者に宿題など家庭学習についての指導開始、過去に保護者向けに「補習校の良さ」講演(卒業生保護者による講演と座談会)。（ウンガー紅巳子）

♣ポートルンド \*\*\*\*\*

学年度の初めにはクラスの中で子どもたちの様子をなるべくメール等で知らせるようにし、今後のやりとりがスムーズにいくよう、心がけています。(吉田 良美)

小学2年生 年度初めに保護者の方々へ配布していた資料

田川 三輪子

クラス状況/そのほか

- ・毎年1クラス20人前後
- ・年間、最低3、4名の転入・退学の入れかわりがあるので、このようなものを作成しておくことで年度途中の急な転入生のときにも保護者への対応と説明がしやすい。
- ・保護者へのお知らせには、年間を通して行うことやお願いしたいことなどを中心に書いておく。

## 保護者の方へお知らせ (保存版)

名前の記入をお願いします。・教科書、宿題プリント、副教材、ノート・・・など学校で使う持ち物などに。



**国語のノートと鉛筆**・・・学校では15マスのノートを使います。学校用ノートを1冊ご準備ください。こちらは学校用として使いますので、家庭で短文作りや漢字などを勉強するときは、家庭用ノートを別にご準備ください。(家庭用:1年生からのものでよいです。)家庭用ノート1冊おわたったときには担任へ提出してください。学校用ノートは基本こちらで預かります。濃い目の鉛筆(Bか2B)3、4本を、削ってから持たせてください。学校では削りません。

**連絡ファイル**・・・この連絡ファイルは、学校からのお便りや授業中に使用したプリントを持ち帰ったり、宿題プリント(展示コーナー課題プリント)を学校へもってくるために使います。ファイルでの提出はいたしません。また、混乱を避けるため、前の週のプリント類が入ったままにならないようお願いいたします。手紙や緊急なお知らせのある場合、記入して学校へ返却する書類などは、ビニールカバーと連絡ファイルの隙間に見えるように入れてください。

**通信について**・・・なるべくお子さまに声を出して読ませていただくか、おうちの方が一緒に読むなどして、これからやることを確認してから宿題に取り組ませてください。

★**宿題プリント全般について**・・・毎日少しずつご家庭での学習習慣作りをお願いします。名前をまず書かせてください。かならず保護者の方がそばにいて勉強をみてあげて、丸つけをしてください。間違いがあればその場でやり直しをさせてください。

↓

宿題をしてその場でチェックすると、どこがわからないかをご家庭とお子様自身がその場で確認することができます。さらに、まちがえた箇所を消さずに横に正しい答えを書いて訂正すると、どこが間違えたか、どう間違えたかをその場でわかるので間違えたまま覚えることを防げます。低学年は言葉の基礎をしっかりと身につける時期になります。

**音読表**・・・音読をした日づけと評価(◎○△)、音読を通して保護者の方がお子さまの気になったところや、分からなかった言葉・・・など、担任とも共有したいこと、お子さまへの一言などをお願いいたします。1週間に1行を使います。

**音読について**・・・音読は内容の読み取りの手段になり国語学習の基本です。毎日、少しずつお子様の音読をそばで聞いてあげてください。1日に何回も読むよりは、毎日3分からでも続けて音読するとすらすら読めるようになります。音読をとおして、いろいろな質問をして内容理解を深め、さらにそこから派生してお母様やお父様が知っているいろいろな知識や話をお子さまにしてください。そして、お子さまの語彙をどんどん増やしてください。

**漢字聞き取りテスト**・・・テスト範囲のスキルの文章をこちらが読んで、子どもたちがカタカナ、漢字かな交じり文で、そのまま文章を聞き取って書くテストになります。聞き取りテストのほかに、音読の宿題範囲から読みのテストも出ます。返却後はしっかり復習をさせてください。

\***漢字スキル短文づくり**・・・通信にも書き方を載せております。スキルを見ながら、お手本の中(スキル)にある点線と字の位置をよく見て、お手本と同じバランスで書けるように、ご家庭でもご指導ください。

(このとき、とめ・はね・はらいに気をつけ、筆順よく書くことが、字がきれいに書ける秘訣です。)

短文は「です」「ます」調で丁寧に書きます。自分の身の回りのことを題材にして短文が書けると、作文を書く時にも取り組みやすくなります。短文づくりは、親子のコミュニケーションとお子さまの様子を知るよいきっかけとなります。

**展示コーナープリント**・・・毎週提出になりますので、忘れずに持たせてください。

**保護者の方へお知らせ (保存版)**

名前の記入をお願いします。・教科書、練習プリント、副教材、ノート・・・など学校で持ち帰るものに、



**国語のノートと鉛筆**・・・学校では15ページのノートを使います。学校用ノートを1冊ご準備ください。こちらは学校用として使いますので、家庭で短文作りや漢字などを勉強するときは、家庭用ノートを別に作ってください。(家庭用：1年生からのものよいです。) 家庭用ノート1冊おわたときには担任へ提出してください。学校用ノートは基本こちらで預かります。漢字の鉛筆(田か2B) 3, 4本を、削ってから持たせてください。学校では削りません。

**連絡タブレット**・・・この連絡タブレットは、学校からのお便りや授業中に使用したプリントを持ち帰ったり、練習プリント(展示コーナー練習プリント)を学校へもって帰るために使います。タブレットでの提出はいたしません。また、混乱を避けるため、前の週のプリント類が入ったままにならないようにお願いいたします。手紙や葉書などお知らせのある場合、記入して学校へ返却する書類などは、ビニールカバーと連絡タブレットの隙間に見えるように入れてください。

**連絡について**・・・なるだけお子さまに声を出して話させていたかどうか、おうちの方が一緒に読むなどして、これからのことを意識してから練習に取り進ませてください。

**★練習プリント全般について**・・・毎日少しずつご家庭での学習習慣作りをお願いします。名前をまず書かせてください。かみやす保護者の方がそばにいて勉強をみてあげて、丸つけをしてください。間違いがあればその場でやり直しをさせてください。

練習をしてその場でチェックすると、どこがわからないかをご家庭とお子様自身がその場で確認することができます。さらに、まちがえた箇所を消さずに横に正しい書き方を書いて訂正すると、どこが間違えたか、どう間違えたかをその場でわかるので間違えたまま覚えることを防げます。低学年は音楽の基礎をしっかりと身につける時期になります。

**音楽**・・・音楽をした日づけと評価(◎△)、音楽を通して保護者の方がお子さまの気になったところや、分らなかった音楽・・・など、担任とも共有したいこと、お子さまへの一言などをお願いいたします。1週間に1行を書いています。

**音読について**・・・音読は内音の読み取りの手順になり音読学習の基本です。毎日、少しずつお子様の音読をそばで聞いてあげてください。1日に何回も読むよりは、毎日3分からでも続けて音読するとすらすら読めるようになります。音読をとおして、いろんな質問をして内容理解を深め、さらにそこから先生してお母様やお父様が知っているいろんな知識や話をお子さまにしてください。そして、お子さまの語彙をどんどん増やしてください。

**漢字取りプリント**・・・プリント範囲のスキルの文章をこちらが読んで、子どもたちがカタカナ、漢字かな交じり文で、そのまま文章を取って書くプリントになります。聞を取りプリントのほかに、音読の音読範囲から読み取ったスキルの文章も出てきます。聞を取りプリントのほかに、音読の音読範囲から読み取ったスキルの文章も出てきます。

**漢字スキル短文づくり**・・・通信にも書かせる方を載せてあります。スキルを見ながら、お手本の中(スキル)にある単語と単語の位置をよく見て、お手本と同じペースで書けるように、ご家庭でもご指導ください。

(このとき、とめ・はね・はらいに気をつけ、筆順よく書くことが、字がきれいに書ける秘訣です。)

短文は「です」「ます」調で丁寧に書きます。自分の身の回りのことを題材にして短文が書けると、作文を書く時にも取り組みやすくなります。短文づくりは、親子のコミュニケーションとお子さまの様子を知るよいきっかけとなります。

**展示コーナープリント**・・・毎週提出になりますので、忘れずに持たせてください。

**その他**

※担任は自信をもって腹を据えて担任としての思い(自分の教育信念)を持ち取り組んでいく。集点は「子ども」保護者に対して丁寧な言葉遣いや文面での対応(笑顔)やしやすい雰囲気や安心感をもてる。\*信頼関係を築いて作る。(保護者のコメント欄などでは積極的にやってみよう) \*保護者子育ての中での保護者の不安や心配事などに気づいたときは、声かけや相談があれば相談する。(保護者の不安材料の整理) \*授業中や休み時間などを通して子どもたちの様子や感じたことなど保護者へフィードバックや共有する。

**年間を通して**

その(アットホーム)や学習習慣のスキルなどの活用

**年度初め**

\*「保護者の方へお知らせ」を配布。  
 \*年度途中の急な転入生のお母さんにも保護者への対応と説明がしやすい。保護者も必要に応じて分かり安心。  
 \*保護者のお知らせには「年間を通して」や「振り返り」などを中心として書く。  
 \*「おうちのたのしみ」や「アットホーム」を配布。  
 \*言語の習得状況や家庭や環境の様子、アットホームなどの健康状況、趣味、買い物・・・など、「お子さまのことを教えたい」などでも自由に話させてほしいという形で書いてもらう用意を。  
 \*「保護者の方へお知らせ」を配布。

クラス状況・・・小学2年生、毎年クラス 20 人前後  
 ティー：保護者との協力 保護者の方へ配布していた資料/保護者との協力できる関係になる取り組み 田川 三輪子

## #44 保護者との協力

(リッチモンド日本語補習校 三川 早苗)

僭越ながら各ご質問の下に私なりの回答をさせていただきます。

・現状報告ですが、保護者と連絡する際は学校を通してすることになっており、直接教員から連絡はできません。保護者からやたらと何かを依頼されたり、直接苦情を言われたりすることはないので、その点では学校が教員を守ってくれています。ただ、直接こちらから連絡をとった方が早いこともあり、特に行事前などに個人的に保護者と児童にお願いしたい時に学校を通すと時間がかかることがあります。毎週、授業報告をホームページに掲載しますが、一方通行ですし、年1回の三者面談はあるものの、直接保護者からの声をタイムリーに聞ける機会もやはり大事だと感じています。厳しいコロナ感染予防策から解放された新年度は、積極的な保護者の行事参加や授業参観などを取り入れてほしいと感じています。他校の先生方で保護者の方とどのような連絡をされ、ご協力をいただいているのかを知りたいです。

保護者教員間でトラブルが発生しないよう、関係性が良好に保たれるよう、学校側の配慮ということでそれはありがたいことだと思いますが、迅速な連絡を望む場合には、ジレンマを感じられることもよくわかります。私個人としては、やはり合理性を重視して、教員と保護者が直接連絡しあえる形式の方が好ましいと感じています。トラブルが発生した際に学校側に連絡をする、および保護者が教員に望める範囲などのガイドラインを学校に作成していただくなど、手立てはあるかと思っています。

・保護者との関係を良好に保つために心がけていることがあれば教えていただきたいです。

生徒さんの良いところをできるだけ褒めます。注意してもらいたい点があれば、「～するともっとよくなる」など、言葉に気をつけます。生徒さんには平等に接します。

・授業の工夫をしたり、授業をしたりすることはとても楽しくやりがいを感じています。ですが、保護者とのやりとりとなると、積極的には関わりたくないというのが正直なところです。補習校だと駐在家庭から永住家庭、永住家庭の中でも毎年日本で体験入学をする子や、とりあえず日本語に触れさせてあげたいという家庭まで補習校に求める物が様々です。1学年で10人未満の学級が多いですが、人数は少なくとも家庭ごとに要望が異なり、勤務時間外の日や時間関係なく頻繁に連絡が来たり、宿題等への要望も家庭ごとに異なります。そこで、他の先生方がどれくらいの頻度で保護者と個別に連絡を取るか、保護者との連絡の取り方にルールはあるか(個人のメールアドレスを使用しない、休日は保護者からの連絡を受け付けないなど)、た、どれくらい個別対応にに応じているかを知りたいです。

お気持ち、とてもよくわかるような気がいたします。相手は子育て真っ最中。教員にとっては、数ある生徒さんの1人でも、保護者にとっては自分のお子さんが主ですから、熱心な保護者であればなおさら、そのように教員に接する傾向があるのかなと想像いたします(経験済みです)。提案としては、宿題に対する要望は年度始めに、なるべくコミュニケーションを済ませ、他の連絡事項に関しては、緊急以外はなるべくメールのやり取りが少なくなるよう心がけていただくことも必要かなと思います。教員にも生活があり、平日も多忙であるということを最初に伝えるのも一案かと思っています。

・子どもに任せっきりで、親の協力がなかなか得られないご家庭にはどのように対応してらっしゃいますか？

教員のできる範囲で、個々に連絡をしていただくのが良いかと思います。保護者も、教員に指摘してもらって、初めて目覚めてくださる場合もありますし、教員が少しずつ伝えて、だんだんと心を開いてくださる保護者もいらっしゃいます。

・生徒のモチベーションを保つためにはどのような工夫、声掛けをされていますか。

できたこと、頑張っていること、よいところなどを認め、褒める。励ます。他の生徒と比べない。

・高学年になると児童の勉強に関わらないようになってくるように思う。もう少し関わるようにしてもらうには、どうすればよいか。

メールならば、生徒さんへの連絡を「Cc：保護者の皆様」にして、どんな勉強や活動をしているか保護者にも把握していただく。保護者を尊重しつつ教員の要望を、優しい言い方で伝えます。

・できるだけ平等にお手伝いいただき、それを楽しくモチベーションをもってやっていただく、声掛けなどのコツ。

上記の回答と同様、保護者を尊重しつつ、教員の要望を優しい言い方で伝えます。

・授業風景など写真や動画をクラスだけの保護者や子供たちとシェアするのもとても神経質なお家庭があります。入学や編入する際にそのような事(写真動画等のシェア等)に対する契約書みたいな書類があるのはこのご時世当たり前ですか？

残念ながら当たり前かどうかは私にもわかりかねます。私はクラス内では、問題ないのではという考えですが、考え方は多様なのでそのような保護者の考えも踏まえて、今後は年度始めに個々に確認されるといいかもしれませんね。契約書を作成してもよいかと思いますし、もしそうでなくても、メールなど、形で残るような同意に関するやり取りは必要だと思います。

・保護者の方より年が下、また海外に住む者としても大体の方が先輩のこともあってか、一部の保護者の方と「横並びの関係」を築くことが難しいことがあります。昨年度は保護者の方に授業のサポートに入ってもらいましたが、私の授業の品定め時間のようになってしまい、上手くいきませんでした。保護者の方に、どのくらい授業に関わってもらっているかお話を伺えれば幸いです。

保護者の方は、年齢関係なくどの教員にも平等に接する必要がありますが、さまざまな方がいらっしゃるのが現状ですね。サポートをしていただくという意図が、先生の品定めのようなことなど不本意なことも起きて、教員生活はいろいろなことがあります。 「いなすこと」も大事なのかなと思います。毅然とした態度を保ちながら、お互いが尊重しあえる関係を築けたらいいですね。

授業のサポートについては、卒業生などボランティアを募るのはいかがでしょうか。学校に要望を出されるといいですね。保護者には授業参観でどんな授業をしているかご覧いただき、授業のサポートは利害関係のないボランティアの方が、うまくいくような気がいたします。

・ディスレクシアや多動症の症状がある生徒の保護者とそれについて話し合う時に気をつけることについてアドバイス頂けるとありがたいです。

信頼関係が大事ですので、保護者の気持ちを害さないよう、汲み取るよう心がけるといいかと思えます。生徒さんの良いところも同時に褒めながら教員の要望を話す、また保護者の話にも真摯な態度で傾聴する、などでしょうか。

・保護者間の軋轢がおこらない保護者へのお願いの仕方、「強制」と受け取られない方法など教えてください。

上記の回答と同様、信頼関係が大事ですので、保護者の気持ちを害さないよう、汲み取るよう心がけるといいかと思えます。「～していただくことで、授業が円滑に進みます。～していただくことで、生徒さんの力が伸びます。～していただけますと幸いです。」など慇懃無礼にならない程度に、丁寧に接していただくといいのかなと思えます。私自身も、お願いするときに、最適な言葉を選ぶよう心がけていますが、どう受け取るかは人それぞれですので、こちらから丁寧に接していれば後は心配しても仕方がないと割り切ることも大事なのかと感じています。

・主に家庭でご協力いただくお母様が日本人でない場合のご協力のお願いの仕方

日本語の理解が難しいようでしたら、現地の言語でコミュニケーションを取る以外はないのかなと思えます。もしもそれが不可能な状況でしたら、どなたかの援助が必要になってくるのかなと想像しています。

・保護者の補習校に対する考え方や思い、または、目的、利用法など、ここ 10 年で随分変化したと感じています。皆さんはいかがでしょう。もしあれば、どんな変化が見られるかご教示ください。

学年や学校の場所にもよるところがあるのかなとも感じています。私の担当学年（中 2～中 3）ではやはり過去も今も、保護者のお考え、目的、利用法などさまざまに「過去と比べて今がこのように変化している」とは言い難いです。

・特になし。皆さんの色々な意見が聞きたい。

全回答をご覧いただけましたら幸いです。

・保護者の学校運営にかかる役割や負担

当校（リッチモンド補習校）は小規模校のため、保護者が運営しています。以前は、校長・会長（外交関係）・経理・図書という四つの役割に補佐という役職があり、8人で運営していたところ（毎年交代）過去に比べ規模が縮小しているため、補佐がなくなり、この5年くらい（正確には確認しないとわかりませんが）は4人で運営してくださっています。ただし、イベント係（運動会や懇親会などに従事）という役割はボランティアから成り、また保護者日直という役割は、運営委員とは関係なく、保護者が毎週交代で、先生の資料コピーの手伝いや安全面を担ってくださっています。ちなみに運営委員日直という役割もございませう。

・行事やイベントを行う際に、どこまで保護者の方をお願いして行っているか(企画段階から入ってもらうか、もしくは当日のサポートのみか)

上記の回答とさせていただきます。クラス単位のイベントならば、教員から保護者にできるだけ関わっていただくと思います。

・保護者の協力を得やすい宿題の出し方、作文のお題などが知りたい。いろんな考え方の保護者がいらっしゃると思いますが、こちらを立てればあちらが立たず、といった状況があった場合、どのように公平を保てばよいのか、それから、宿題など頑張っている保護者への褒め方、感謝の伝え方で工夫していることがあれば教えてください。

最低、副教材の丸つけ(小学校6年生くらい~中学部なら自分で)はしていただくと教員の負担が少なくなると思います。作文は、教科書の物語に沿ったものの感想文や学年に応じて、このテーマなら書けるだろうと思われるものを選びます。また、生徒のレベルに合わせたりもします。

両方を立てるという場面では、両方のよいところを褒めてなるべく公平を保つように心がけ、現場でそれが難しい場合には、個々に、伝えます。個々に立てる言葉を伝えて、臆病はしていないことをわかっていただき、信頼関係を築きます。

保護者への労いや感謝の伝え方は、自分が保護者でこう言われたら嬉しいかなと想像してみても文章を練ります。

・モンスターペアレンツへの対応(ケースバイケースだとは思いますが...)

余りに理不尽だと思われる言動には、喧嘩腰ではなく、やんわりと伝えた方がいいかと思えます。大抵はわかっただけだと思います。

・少人数の為当番が頻繁に回ってくる学校ではどうされていますか。

下記のご質問の回答とさせていただきます。

・保護者の学校運営にかかる役割や負担

当校(リッチモンド補習校)は小規模校のため、保護者が運営しています。

以前は、校長・会長(外交関係)・経理・図書という四つの役割に補佐という役職があり、8人で運営していたところ(毎年交代)過去に比べ規模が縮小しているため、補佐がなくなり、この5年くらい(正確には確認しないとわかりませんが)は4人で運営していただいています。ただし、イベント係(運動会や懇親会などに従事)という役割はボランティアから成り、また保護者日直という役割は、運営委員とは関係なく、保護者が毎週交代で、先生の資料コピーの手伝いや安全面を担っていただいています。ちなみに運営委員日直という役割もございます。

・非協力的(言葉が悪くてすみません)な保護者との良好な関係のつくりかた

優しい言葉で繰り返しこちらから働きかけていくと、良好な関係を築けることが多いです。

・保護者が宿題の手助けをしすぎるところがあります。皆さんはこんな時、どのように対処していらっしゃいますか。

手助けは良しとしたいと思います。日本の受験などの相対評価と違いますので、親の助けも勉強になると私は思っています。

・目指す日本語力レベルについて、家庭によって様々。学校任せにしている保護者への対応をどうしているか。積極的に聞いてくれるようにする工夫、講師からの接し方・依頼の仕方のコツ。

下記のご質問の回答を回答とさせていただきます。

・子どもに任せっきりで、親の協力がなかなか得られないご家庭にはどのように対応していらっしゃいますか？

教員のできる範囲で、個々に連絡をしていただくのが良いかと思います。保護者も、教員に指摘してもらって、初めて目覚めてくださる場合もありますし、教員が少しずつ伝えて、だんだんと心を開いてくださる保護者もいらっしゃいます。

いちねんせい おんどく・しゅくだい・どくしょカード

4/29ていしゆつ

なまえ：\_\_\_\_\_

しゅくだい	ど	に	げ	か	す	も	き
		ち	つ		い	く	ん
わすうじで10までかぞえる。 まいにち、こよみで、そのひの ひづけをよむ。「○がつ○にち○ようび」							
おんどく P32～39 まいにち 2かい ◎すらすらとよめた ○げんきよくよめた △がんばんろう							
うつしまるくん P8・9							
てすとじゅんぴ：なにぬねのはひふへほ							
しょしゃ p 12・13							
こくごワーク p10～15							
どうぶつがしゅじんこうの おはなしをよもう							
さんすう きょうかしよ p 22～27							
けいさんスキル 9・10							

しゅくだいがおわったら、おうちの人に しゅくだいに まるをつけてもらい、このひょうに シールを はってもらおう。

こんしゅうの よんだ ほん じぶんで よんだときは、あかでかこう	おうちから たんにんへ